

計画事業番号	00638	事務事業名	市道排雪支援事業	担当部署	建設部土木事務所	電話	6104
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市排雪事業補助金交付要綱			
事務事業開始年度	平成9年度		個別計画等	-			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章)	快適な生活環境のまち
	(第 4 節)	交通の充実
	(施策 3)	冬期間交通の確保
2 対 象	市道(生活道路)の排雪事業を実施する自治会等	
3 目的と内容	冬期間の生活環境の改善と交通確保を図るため、市街化区域内における市道の排雪を実施する自治会等を支援する。	
4 実施内容 (手 段)	28年度まで	<p>市道の排雪事業を実施する自治会等が、排雪に要する費用の補助を受け事業を実施 (補助内容の推移) H9～補助基準額37万円/km補助率1/3、H15～補助率1/3→1/2、H18～37万円/km→48万円/km H22～H26 48万円/km→52万円/km H27～52万円/km→60万円/km(増額分の8万円については市が負担する。)</p> <p>(実施団体数の推移) 平成18年度 48団体、平成19年度 55団体、平成20年度 56団体、平成21年度 62団体 平成22年度 63団体、平成23年度 66団体、平成24年度 65団体(団体の統合により1減) 平成25年度 65団体、平成26年度 64団体(68団体申込→4団体途中キャンセル) 平成27年度 48団体(69団体申込→21団体途中キャンセル) 平成28年度 66団体(69団体申込→3団体途中キャンセル)</p>
	29年度	<p>昨年と同様の事業であるが、排雪事業費の2分の1を補助する。 実施予定団体:68団体 実施予定延長:135.2km</p>

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
自治会等に助成	自治会等に助成 (実施66団体)	自治会等に助成	自治会等に助成	自治会等に助成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	冬季間の生活道路の交通を確保することにより、生活環境の向上が図られている。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			44,504		47,002		50,600		51,555	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	44,504		47,002		50,600		51,555	
	① 合計	44,504		47,002		50,600		51,555		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.15	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	1,260	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			45,344		48,262		51,440		52,395	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 排雪実施延長	目標値	132.6	135.2	137.8	140.4
		実績値	125.1			
	② 補助団体数	目標値	67	68	69	70
		実績値	66			
③ 生活道路総延長	目標値	213	213	213	213	
	実績値					
④	目標値					
	実績値					
成果指標	① 排雪事業実施率 【排雪実施延長/生活道路総延長】	目標値	62.3	63.5	64.7	65.9
		実績値	58.7			
	② 排雪補助導入率 【排雪実施団体数/自治会総数市街化区域内自治会総数 109団体】	目標値	61.5	62.4	63.3	64.2
		実績値	60.6			
③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	通常の市道除雪では対応できない市民から要望の強い生活道路の運搬排雪を行うことにより、冬期間のより快適な生活環境の向上を図るためには必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	地域住民・除雪業者・市の3者がそれぞれ役割を分担して、連携・協力しながら事業を実施しており、平成9年度の事業開始以来実施団体数は年々増加し、平成28年度の申し込み件数は当初69団体であった。少雪により21団体のキャンセルがあった平成27年度に対し、平成28年度は大雪の影響もあり実施率は昨年度と比べ12.9%上がった。これは、天候上の理由もあるが、当初団体数は増加傾向となっているので成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	排雪支援事業の未実施の町内会等に周知を図り、実施団体を増やしていく必要がある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	近年の人件費の値上りや燃料費の高騰によりコストを削減することは難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。	